

実習先名称 : 細見工業株式会社
実習部署 : 製造部,営業推進部,総務部
実習期間 : 令和2年8月3日 ~ 8月31日 (実働20日間)
実習テーマ : 専門的知識と実践技術の密接な関連を学び,職業に対する理解を深める

1.実習先概要

機関名:細見工業株式会社

所在地:東京都葛飾区

主な事業内容:

細見工業株式会社は,主に博物館・美術館等各種展示ケースの設計・製作・施工,科学館・博覧会等で使用する金物の設計・製作・施工を行っており,国立科学博物館や広島平和記念資料館等,全国各地での実績がある。

2.動機と目標

私が細見工業株式会社を志望した理由は,大学での勉強する意味や実際に企業で働いている方たちが具体的にどのような仕事をしているのかを学ぶことができ,20日間でモノづくりを一からしっかりと学ぶことができると思い志望した。実習先で実際の仕事を体験して,何の知識が不足しているのか,どのようなスキルが不足しているのかを学びたいと考えている。

実習を通じた成長目標として,ジェネリックスキルに関しては行動計画や1日の振り返りを行うことによって日々成長する,テクニカルスキルに関しては大学で学ぶ知識がどのように使われているのかを理解して,自分に欠けている知識を実習で学ぶことで,自分の知識を増やすと共に,他の学生と経験による知識で差をつけることを目標として設定した。

3.実習内容

20日間で主に製作部,営業推進部,総務部の3つの部署で就業体験を行った。

製作部では切断した金属のバリ取りや錆取り,完成した製品の梱包の業務補助,自主制作を行った。バリ取りは図1のように切断された鉄の角材のバリをヤスリで除去し,錆取りでは紙のヤスリを用いて製品の錆を落とした。また,梱包の作業では完成された製品を気泡緩衝材で覆う作業を行った。ほとんどの作業が大学では学べない業務であるので,初めは慣れなかったがアドバイスを元に少しずつ上達して自分のテクニカルスキルを向上させることができた。

また,自主制作ではランプシェードを制作した。まず,図2のように同時期に参加していた他校の実習生と共にランプシェードのデザインを考え,案を元に板金用CADであるAP100で図面を描いた。そのデータをレーザー加工機に送り,鉄の板を切断した。その後,切断した鉄のバリ取りをして,組み立て,錆防止のための塗装をして図3のようなランプシェードを完成させた。自主制作を通してモノづくりの流れを体験することができた。



図1 バリ取りの様子

次に、営業推進部では様々な打ち合わせや会議に参加した。どちらも議事録を書いたのだが、会話の内容を理解して、簡潔にまとめ、紙面に書くことの難しさを実感した。

総務部では名刺整理やファイルの整理等を行った。総務部での作業では効率が重視されており、短縮できることは短縮し、次にすべきことを考えながら作業をするので、常に頭を回転させながら業務を行っていた。

4. 実習成果

私はこの実習期間中、どんな仕事にも技術やコツが必要であると学んだ。バリ取りでは力の加減が分からず削りすぎたり、梱包作業では見栄えの悪い梱包になったり、議事録では話を簡潔にまとめることができず上手く書けない、総務部では効率の良い時間の使い方など初めてで上手くいかないことが多くあった。しかし、そこから改善点を見つけ、次の作業ではその改善策を実行する。再度失敗したら、また改善点を見つけ出して改善する。この繰り返しがモノづくりにおいて非常に重要であると 20 日間を通して気づいた。したがって、私はこの実習を通して「恐れずに失敗をして、失敗から学ぶ」ということを学んだ。

また、大学で勉強する意味は、講義の内容を聞く傾聴力、聞いた内容を簡潔にまとめる要約力、分からないことがあれば教授に聞く主体性等を訓練するために勉強するのであると実習を通じて考えた。大学で学ぶ講義の内容も重要であるが、それよりも話の聞き方やノートの取り方等を工夫して社会人になった際に主体性や要約力等を身につけておくことで困らないようにするために大学等で勉強すると学んだ。

以上の経験を通じて私は、振り返りを行って成長するというジェネリックスキルの目標と自分に欠けている知識を学ぶことで成長するテクニカルスキルの目標を概ね達成できたといえる。しかしながら、私はまだどちらのスキルもまだ不十分であるため、これから大学生活で多くの失敗を重ねて、自分の行動を振り返り、自分に足りない部分が何かを考えて、学んで、行動できるようにするべきであると考えた。

5. 将来展望

この度は 20 日間という長い期間の貴重な実習を設けていただき誠にありがとうございました。大学では学べないことを多く学ぶことができました。また、同時に細見工業株式会社の方達と比較して自分がいかに知識やスキルが不足しているかも学ぶことができました。この不足している部分を無くすためにこれから多くのことに挑戦をして、様々な失敗を繰り返し、自分の気づきを見つけ出して将来は今よりもさらに成長したいと考えております。

6. 大学へのメッセージ

「自分を変えたい、成長させたい」と考えている方は多くの失敗を繰り返してください。失敗によって誰かに怒られるかもしれませんが、その失敗から学べることは多くあります。授業でのノートの取り方やテスト勉強の方法等で失敗する度に改善策を挙げれば、自分の分からなかった気づきを得ることができます。よって、これからインターン等の新しいことから何かを学びたい方は失敗して多くのことを学ぶように意識してください。



図 2 ランプシェードのデザイン作成



図 3 完成したランプシェード